

平成 28 年度町政懇談会記録(要旨)

開催日：平成 28 年 6 月 24 日（金）
開会：午後 7 時 00 分 閉会：午後 8 時 35 分
場所：笹尾東 2 丁目
参加者：男 8 人、女 4 人 計 12 人
町職員：町長、副町長、総務部長、財政課、町民課、政策課

○懇談

男性 今の高齢化はあらゆる分野に影響すると思います。今、防災で検討してもらっているのが、老人に対する見守りということですが、自治会から脱会したいという方が増えています。いざというときは、そういう方が問題になってくると考えられますし、今、行政が組織替えされて、危機管理が少し手薄くなっているのではないかという気がします。町としてどういう考えなのか、安心して相談できるのかと、今後のビジョンを教えていただきたいと思います。

町長 日本中どこにいても何が起こるかわからないのが日本だと思います。東員町には、断層としては大きなものはありませんが、小さなものはあります。だから地域の支え合いが大事だと思います。確かに、地域になかなか出てこれない方が困るんですよ。地域でつながりがあればいいのですが、普段からつながりのない方が、なかなか振り向かない。できるだけ自治会に入っていて、つながりを作っていただきたいとお願いしたいのです。地域の中で考えていただきたいと思っています。役場の組織ですが、以前、危機管理課があって、今は環境防災課になりました。危機管理課は 4 人でしたが、環境防災課になって 8 人になりました。いざというときに、何か起こったら、4 人ではなく、8 人で対応できるように変えました。どちらかという強化したと思っていますので、そのようにご理解いただければと思います。

男性 この間、防災関係で相談した時に担当外でわからないという対応を受けたので、何かあったときにそのようなことがないようにしていただきたいと思いましたので。

町長 今までの危機管理にいたものが残っていますのでもっと勉強させるようにいたします。

男性 まず一つ目に、自主防災隊をやっていますが、高齢化していて、災害があったときに、全員が助けてもらいたい人になると思っています。中学校と自治会と一緒にやっていける動きを後押ししていただけないかなと。中学生だったら、動けない方をリ

アカーや車いすで押していけるのではないかなと思います。中学校をうまく巻き込んでいくのがポイントかなと思っています。自治会や教育委員会で検討していただけたらと思います。二番目は空き家です。集会所の前にも空き家があって危険です。我々ではどうやって連絡していいかわからない。役場でしたら、ここは連絡ができる、できないとかがわかると思います。最低限、はみ出している枝などの選定とか、火事になっては困るので、そこらへんをおさえておきたいと思います。

町長

中学生と自治会とコラボした訓練をしたらどうかという提案だったと思いますが、早速検討させていただきます。東北の震災の時も、「釜石の奇跡」という言葉を皆さんもご存じかと思いますが、中学生が誘導して、小学生や一般の人がついていって、中学生についていった人が全員助かったというのが、「釜石の奇跡」です。早速、学校や教育委員会と検討させていただきたいと思います。いい提案いただいたと思います。空き家ですが、去年空き家を調べました。水道が止まっている空き家のうち特定空家といわれる、壊さなければ危険な空き家が8件くらいあって、それは手続きを踏んでなんとか、壊していただくことになると思います。あとの使える空き家は持ち主の人と一緒にあって、借りるなり、売るなり、そういう意思も調べていますので、それにそって対応していきたいと思っています。実は、私が就任した5年前にもっとひどいのが笹尾西4丁目にありまして、道路に木がはみ出していて、危ないからどうかしてほしいと相談を受けました。持ち主に連絡もしましたが、対応していただけてなくて、何をしたかという、役場職員で草を刈って木を伐りました。こういうことをしたこともあります。我々にとってはリスクもあります。訴えられたときに被告になりますからね。だけでもそれを覚悟でやった物件が一つあります。この家困っているということを教えていただければ、把握している中で持ち主に連絡をさせていただきます。迷惑がかかるようなものについては、持ち主にも強く言います。把握しているのは建設課ですが、どこでもいいので、担当課にいくようにしますので、町民課でも結構ですので、言ってください。

男性

建設課にこの前聞いてきたのですが、一番危険性のあるのは笹尾東に1件と在来地区に7件あると聞きました。142件中8件が、危険性がある、ネオポリスで1件ですと聞いてきました。そういうこと話していただくといいと思います。

町長

全部で142件の空き家があり、そのうち全然使えない特定空家が8件、その次が10件で18件あります。危険な空き家やもうすぐ危険なのが18件あります。今3パターンくらい考えていまして、一つは立地によっては店舗に使えないかなというのと、もう一つは企業に働きかけていまして、企業の社宅やゲストハウスにできないかと話しています。もう一つは地域の中で高齢化していますので、高齢者の皆さんの集まる場所として空き家を利用していただくのはどうかと思っています。行政としても相談にのせていただきたいと思います。危険なものについては自治会長に依っていた

だいて、自治会長から報告いただければと思っています。

男性

環境防災課の件ですけど実際わかっているのは2人しかいないんです。消火栓を動かすのにどうしたらいいかと聞きにいったら、わからないと言われたので、もっと職員に徹底してほしいと思います。

広報で町長は3つの方針をお示しいただきました。まちの形を変える、人にやさしい地域を、未来への投資というのが、広報とういんに載っていました。今回の資料にもこの3つを書いていただいたら、つながるのかなと思いましたので提案します。

もう一つは、今、各部署で色々な取り組みの会議があると思いますが、子ども条例にかかわった人が子どもの権利委員会とか、青少年育成推進指導員とか、この前は広報で若者会議の委員を公募で選抜されていますが、縦割りになっているような気がしますので、横につなげて、連携をとっていける組織にしていただけるといいのではないかと思います。提案ですので回答は結構です。

町長

子どものことについては今、力を入れています。まさに未来に投資することですので、きちんと大切にしていきたいと思っています。まちの形を変えるというのは2つありまして、1つは、この笹尾城山地区の人の循環だと思っています。手始めに笹尾西1丁目の保育園の跡地を売却しまして、若い人向けの住宅を作っていきます。ここにひとつの若い人が形成するまちを作っていただいて、ここがモデルになってこんなまちづくりをしていこうということになれば、また、若い人がこの中に入っていただければ、循環につながるかなと思っています。これだけではだめですので、空き家や空き地を若い人に誘導して、子どもを増やすことを考えていきたいと思っています。もう一つは北勢線東員駅前を開発していきたいと思っています。役場を中心に公共エリアと駅を有効的に使うのが、東員町の発展につながるのかなと思っています。東員町のまち全体も変えていかなければいけないなと思っています。東員インターも8月に開通しますので、東員町に来ていただいた方に、これが東員町だ、というまちをなんとか作って行って、また来ていただく、東員町でお金を落とさせていただく、といった東員町が稼げる町にならないといけないと思っていますので、ご意見ご指導いただければと思っています。

男性

企業が設置するソーラー発電とかは住民にとってメリットになるのかというのを教えていただきたいのと、街路樹を伐ってしまわれたけれども、街路樹をなくして平たい町にしていくのかを教えていただきたいと思います。

町長

ソーラー発電のメリットは、なかなかないと思います。一応、設置するのは償却資産になりますので、償却資産が入ってくるぐらいで、東員町にとってのメリットはないのが、現状です。民間が全部やっていますので。街路樹について、笹尾の外周は全部伐って、段差をなくして歩きやすくしています。何年か前に街路樹の根が悪さをし

て歩道が歩きにくいので、木を伐って歩きやすくしてほしいということで、検討した結果、国の補助金をとって取り組んでいます。現実問題、意見としては2つにわかれています。なぜ街路樹を伐ったのかと歩きやすくなったという2つの意見ですが、始まりが歩きにくい、転んだら誰が責任をとるのか、ということですので、笹尾は特に歩道が狭いので、できるだけ平らにして転ぶことがないように、という趣旨から始めましたので、外周はすべてやります。中に入っている道路もやってほしいという話もありますが、これはまだわかりません。まず外周をやってから色々意見を聞こうかなと思っています。

男性 街路樹は何年くらい経っているのですが。それを5分できってしまうのは。四季の紅葉が見られますしね。

町長 もう30数年経っていますからね。特に笹尾西ですが、実際に、桜の根が住宅の中に入って下水をとめてしまった件が何件か出てきて、これを補償しなければいけないという事例がでてきています。実際、伐り始めたらなぜ伐ってしまうのかという意見も出てきましたが、最初は歩きにくいという意見から始まっています。笹尾は、昔の基準ですから歩道が狭いので、人をケガさせたときにどうするかということも含めて、4、5年前に決めましたので、笹尾外周はやります。このあと、皆さんの意見を聞いて、他のところは判断していきます。

男性 ごみの発電はあと数年で終わるんですよね。

町長 ごみについて少しお話しさせていただきます。今の施設は平成32年度で終わります。県がRDFで発電するのをやめるといっていますので、変えざるを得ないのですが、今年、新しいごみ焼却施設を設計し入札して来年くらいから建設にかかっていくと思います。おそらく150億くらいかかると思います。後年度負担で借金してずっと払っていくわけですが、現在、東員町から桑名広域にごみの処理で払っているお金が3億あります。平成33年度以降は、施設が新しくなったときに、桑名広域に払うお金は2億になって1億円払うお金が下がります。施設の性能がよくなるのがありますが、今と違うところは、自治体一律の負担割合を減らします。均等割の負担が減って、町民の皆さんにごみを減らしてもらおうと、減らした分下がります。ごみの量によって払うような仕組みに変えますので、努力したところが少なくなる方式に変わります。町民の皆さんにはどんどんごみを減らしていただきたいと思います。これが一番困るのが可燃ごみの生ごみです。水分を減らしていただくだけで、ずいぶん変わりますので、ぜひよろしくをお願いします。

男性 水道施設の耐震化の話で水道料金が上がると、私たち高齢者はとても困りますので、検討をお願いします。それと自治会の集会所の建て替えですが、今まで積み立ててい

るところはいいですけど、そうでないと負担が大変です。行政として集会所の使い方の方あり方とかを、笹尾コミュニティーセンターを使うとか、そういった提案をご検討していただけるといいかなと思います。

町長

集会所の使い方は大勢で使うときは笹尾コミュニティーセンターも便利だと思います。ただ、地域で少人数が使われるときは集会所が便利です。コミュニティーセンターと集会所をうまく使い分けていただければと思います。あと水道は、東員町は全国の水道料金で下から3本の指に入ります。水道はどこへいっても立派な浄水場がありますが、東員町はありません。いらないんです。非常にきれいな水がでますので、そこに塩素を入れて皆さんに供給しています。基準値はクリアしていますので、安心して飲んでいただけます。水道の匂いもあまりしません。たくさん塩素を入れていませんが飲料水として問題ないです。ただ、何十年前にできた施設をずっと使っていますので、これだけ地震が発生していますと、いつ何時壊れるかわかりません。いざというときに水がなくなるという恐怖が行政としてありますので、ご理解をいただきたいと思います。ただし料金を上げるのも少しずつという段階を取りたいと思っています。水道施設の耐震化には35年ほどかけて、全部で135億かかります。全部皆さんに払っていただくわけではなくて、後年度負担しながら払っていただきますので、料金が上がっても、おそらく三重県下でも非常に安い水道料金になるとは思っています。施設の老朽化と耐震化を考えてご理解をいただきたいと思います。

女性

資料では神田と稲部が、人口が増えています。何が魅力なのかなと思ひまして、聞かせていただきたいと思います。

町長

何が魅力というより、開発するところがあるんです。今、東員町というのはミニ開発が多いのですが、開発されるとすぐに売れます。わりと若い人が子どもさんをつれて入ってきます。それで人口が増えるということがあって、昨日八幡新田で転入された人の話を伺いましたが、不動産屋さんから進められて即決したという話を聞きました。その方がいわれるには、東員町は小さい町なので車でどこへ行くのも近いです。公共交通機関や病院や買い物できる場所もあります。ご夫婦で東員町に来てよかったのかなと話していて、大過なくすごせるのがいいという結論になったそうです。

東員町は津波もないし、大きな活断層もないので、比較的安全なところではないかなと思っています。東北の震災前は川越町に人が入っていましたが、今は内陸に移行しています。

男性

1ヶ月くらい前から獣害被害の話がでてきて、タヌキだと思います。今写真も持ってきましたが、中央公園のすぐ裏のお宅ですが、たぶん公園の山にいるかとは思いますが、他の自治会でもタヌキがでるとい話も聞いていますので、町の方へお願いにもいきますが、獣害対策をよろしく願います。

総務部長

そこで、一つお願いですが、えさをやらないようにお願いしたいと思います。